

第8章

おわりに

本技術資料が水中の放射性Csの前処理をする技術者や研究者にとって有用な情報になれば、幸いである。

本技術資料では、水中の放射性Csのモニタリング、前処理に係わる多数の研究者・技術者の現時点での最新の知見を取りまとめた。執筆にあたり、環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム 技術資料改定WGのメンバーおよびレビューを頂いた皆様には、多大なご尽力を頂いた。

また、精度評価試験に関する共通試料の準備においては、農研機構東北農業研究センターの皆様にご協力を頂いた。

さらに、7.5節の精度評価試験は、コンソーシアム予算に加えて、JSPS科研費(16H01791)、クリタ水・環境科学振興財団(16K004)等の助成を受けたものである。

ここに記して謝意を表す。

本技術資料が水中の放射性Csの前処理をする技術者や研究者にとって有用な情報になれば、幸いである。

・技術資料改定WG

申 文浩 福島大学 食農学類 准教授

保高徹生 産業技術総合研究所 地質調査総合センター グループ長

谷口圭輔 筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター 研究員

辻 英樹 国立環境研究所 福島支部 主任研究員

栗原モモ 量子科学技術研究開発機構 学振特別研究員

久保田富次郎 農業・食品産業技術総合研究機構 ユニット長(2.3節)

塚田祥文 福島大学 環境放射能研究所 教授(2.4節)

帰山 秀樹 水産研究・教育機構 水産資源研究所 グループ長(2.5節)

中西貴宏 日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 研究副主幹(p.28)

・監修:環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム

・発行者:国立研究開発法人 産業技術総合研究所

環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム

★ 法人会員(14社)

いであ、環境管理センター、環境分析研究所、KANSOテクノス、九州環境管理協会、サンコー環境調査センター、島津テクニサーチ、スリーエムジャパン(2018年度まで)、中外テクノス、東京パワーテクノロジー、日本化学環境センター、日本環境科学、日本バイリーン、藤原製作所

★ 公的研究機関特別会員(2法人)

福島県農業総合センター、日本原子力研究開発機構

★ 公的研究機関特別会員(個人、24名)

信濃卓郎(北海道大学)、林誠二(国環研)、恩田裕一(筑波大学)、青野辰雄(量研機構)、内田滋夫(量研機構)、塚田祥文(福島大学)、大野浩一(国環研)、田上恵子(量研機構)、久保田富次郎(農研機構)、江口定夫(農研機構)、吉川夏樹(新潟大学)、谷口圭輔(筑波大学)、倉元隆之(東海大学)、錦織達啓(農研機構)、小林政広(森林総研)、二瓶直登(福島大学)、難波謙二(福島大学)、辻英樹(国環研)申文浩(福島大学)、保高徹生(産総研)、栗原モモ(量研機構)、宮津進(新潟大学)、苅部甚一(近畿大学)、帰山秀樹(水産研究・教育機構)

★ 役員

会 長 : 保高 徹生 (産業技術総合研究所)

副会長 : 高橋 堅 (東京パワーテクノロジー)

副会長 : 上東 浩 (島津テクニサーチ)

監 事 : 菊池 美保子 (環境分析研究所)